

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年11月12日

【四半期会計期間】 第50期第2四半期(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

【会社名】 鈴茂器工株式会社

【英訳名】 Suzumo Machinery Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小根田 育治

【本店の所在の場所】 東京都練馬区豊玉北二丁目23番2号

【電話番号】 03(3993)1371

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼経理部長 藤田 進一

【最寄りの連絡場所】 東京都練馬区豊玉北二丁目23番2号

【電話番号】 03(3993)1371

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼経理部長 藤田 進一

【縦覧に供する場所】 株式会社ジャスダック証券取引所  
(東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第49期 第2四半期連結 累計期間	第50期 第2四半期連結 累計期間	第49期 第2四半期連結 会計期間	第50期 第2四半期連結 会計期間	第49期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (千円)	2,736,535	2,526,794	1,397,530	1,347,463	5,255,975
経常利益 (千円)	172,763	83,457	109,886	82,337	282,636
四半期(当期)純利益 (千円)	100,121	45,567	64,282	46,319	169,063
純資産額 (千円)	—	—	5,435,117	5,478,380	5,496,897
総資産額 (千円)	—	—	6,344,977	6,421,983	6,328,839
1株当たり純資産額 (円)	—	—	1,096.22	1,104.51	1,108.25
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	20.19	9.19	12.97	9.34	34.09
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	—	—	85.7	85.3	86.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	192,804	312,329	—	—	294,347
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△184,285	△33,554	—	—	△344,608
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△78,649	△84,174	—	—	△81,761
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	—	—	2,163,643	2,296,352	2,101,751
従業員数 (名)	—	—	243	247	244

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、新株予約権方式のストックオプション制度を導入しておりますが、期中平均株価が権利行使価格を下回るので記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社における状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	247 (15)
---------	----------

(注) 1 従業員数は、就業人員であり、臨時従業員数は（ ）内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

2 臨時従業員には、パートタイマーおよび嘱託契約の従業員を含み、派遣社員を除いております。

### (2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	237 (13)
---------	----------

(注) 1 従業員数は、就業人員であり、臨時従業員数は（ ）内に当第2四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

2 臨時従業員には、パートタイマーおよび嘱託契約の従業員を含み、派遣社員を除いております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

品目別	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
寿司・おむすびロボット	742,028	83.0
その他製品及び部品	168,639	115.6
合計	910,668	87.5

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注状況

品目別	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
寿司・おむすびロボット	772,118	86.8	22,784	95.6
その他製品及び部品	161,860	103.3	3,086	116.4
製品小計	933,979	89.3	25,871	97.6
炊飯関連機器	44,123	134.7	800	0.0
寿司用資材	317,937	114.7	9,027	119.4
商品小計	362,061	116.8	9,827	130.0
その他	29,933	132.9	—	—
合計	1,325,973	96.2	35,699	104.8

- (注) 1 金額は販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (3) 販売実績

品目別	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
寿司・おむすびロボット	787,269	86.8
その他製品及び部品	162,566	102.7
製品小計	949,836	89.1
炊飯関連機器	48,123	138.2
寿司用資材	319,570	116.4
商品小計	367,694	118.8
その他	29,933	132.9
合計	1,347,463	96.4

- (注) 1 金額は販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

## 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の世界的な金融危機を背景とした景気後退の影響を受ける中、国の経済対策の効果により一部に回復傾向が見られたものの、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷などにより、依然として厳しい状況が続いております。

外食産業におきましては、少子高齢化や所得の伸び悩みによる消費者マインドの低下により全般的に厳しい環境で推移しています。大手の回転寿司業態や寿司・弁当などの中食業態においては比較的順調に推移していると思われまます。しかしながら、店舗運営の効率化の観点から出店計画の見直しや、店舗の統合・退店などにより設備投資の抑制の影響が出てきております。

このような情勢の中、当社グループは、お客様の効率化・省力化にお応えできるよう、FOOMA JAPAN（フーマジャパン）やスズモフェアなどの展示会の開催やきめ細かい販売活動を展開いたしました。既存取引先は勿論のこと新規需要先の開拓についても積極的に販売活動を推進いたしました。海外については、為替市場の変動の影響を受ける中、アジア地域、オセアニア地域、ヨーロッパ地域を中心に販売活動を展開いたしました。また、当社100%子会社の株式会社セハー ジャパンについては、営業施策の徹底とともに積極的な販売活動を展開いたしました。アルコール系洗浄剤・除菌剤等の販売につきましては新型インフルエンザの影響もあり極めて順調に推移しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間における売上高合計は13億47百万円（前年同期比3.6%減）となりました。製品内訳は、寿司・おむすびロボット等の製品売上高9億49百万円（前年同期比10.9%減）、炊飯関連機器および食品資材等の売上高3億67百万円（前年同期比18.8%増）、その他売上高29百万円（前年同期比32.9%増）となりました。

また、利益につきましては、営業利益79百万円（前年同期比24.1%減）、経常利益82百万円（前年同期比25.1%減）、四半期純利益46百万円（前年同期比27.9%減）となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ93百万円増加し64億21百万円となりました。これは主に、たな卸資産が1億2百万円、有形固定資産が59百万円減少した一方で、現金及び預金が1億94百万円、受取手形及び売掛金が81百万円増加したことなどによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億11百万円増加し9億43百万円となりました。これは主に、買掛金が37百万円、未払法人税等が39百万円増加したことなどによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ18百万円減少し54億78百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払74百万円により減少したこと、四半期純利益により45百万円増加したことなどによるものであります。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期末に比べ1億36百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には22億96百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加58百万円、未払費用の減少1億11百万円等による資金の減少はありましたが、税金等調整前四半期純利益82百万円、たな卸資産の減少65百万円、賞与引当金の増加53百万円、仕入債務の増加49百万円、減価償却費43百万円等による資金の増加により、1億40百万円の資金の増加(前年同四半期連結会計期間に比べ68百万円の増加)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得6百万円等による資金の減少の結果、7百万円の資金の減少(前年同四半期連結会計期間に比べ52百万円の増加)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済1百万円、リース債務の返済1百万円等による資金の減少はありましたが、短期借入金の借入6百万円等による資金の増加の結果、3百万円の資金の増加(前年同四半期連結会計期間に比べ1百万円の減少)となりました。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### (5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、22百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。



## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

##### ② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,960,000	4,960,000	ジャスダック証券 取引所	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式 単元株式数は100株であります
計	4,960,000	4,960,000	—	—

(注) 提出日現在の発行数には、平成21年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

#### (2) 【新株予約権等の状況】

平成13年改正旧商法第280条ノ21の規定に基づき発行した新株予約権は、次のとおりであります。

平成17年6月29日 株主総会特別決議	
	第2四半期会計期間末現在 (平成21年9月30日)
新株予約権の数(個)	2,400
新株予約権のうち自己新株予約権の数	—
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数(株)	240,000
新株予約権の行使時の払込金額(円)	96,100
新株予約権の行使期間	平成19年7月1日～平成26年6月29日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の 発行価格及び資本組入額(円)	発行価格 961 資本組入額 481
新株予約権の行使の条件	(注)
新株予約権の譲渡に関する事項	新株予約権の譲渡、質入その他の処分は認めない。
代用払込みに関する事項	—
組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項	—

(注) 各新株予約権の一部行使はできないものとする。ただし、新株予約権の割当を受けた者は、当社の取締役、または、使用人たる地位を失った後も、これを行使することができる。また、新株予約権の割当を受けた者が死亡した場合は、相続人がこれを行使できる。また、いずれの場合にも新株予約権割当契約に定める条件による。

その他の条件は、当社と新株予約権の割当を受けた者との間で締結した「新株予約権付与契約」で定めるところによる。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成21年9月30日	—	4,960	—	571	—	399

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
鈴木節子	東京都練馬区	1,675	33.77
鈴木美奈子	東京都練馬区	678	13.66
鈴木映子	東京都杉並区	678	13.66
平田邦治	愛知県名古屋市天白区	180	3.62
鈴茂器工取引先持株会	東京都練馬区豊玉北二丁目23-2	118	2.38
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区有楽町一丁目1-2	100	2.02
竹田和平	愛知県名古屋市天白区	80	1.61
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サー ビス信託銀行株式会社)	東京都中央区晴海一丁目8-12	80	1.61
鈴茂器工従業員持株会	東京都練馬区豊玉北二丁目23-2	74	1.48
鈴木康友	東京都墨田区	44	0.88
計	—	3,705	74.70

## (6) 【議決権の状況】

### ① 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	—	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,959,600	49,596	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 400	—	—
発行済株式総数	4,960,000	—	—
総株主の議決権	—	49,596	—

### ② 【自己株式等】

該当事項はありません。

## 2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	470	468	528	582	560	529
最低(円)	430	429	465	506	506	504

(注) 株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

## 3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、また、当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,296,352	2,101,751
受取手形及び売掛金	807,309	726,180
たな卸資産	※4 721,706	※4 823,787
繰延税金資産	66,531	66,400
その他	39,567	65,963
貸倒引当金	△968	△988
流動資産合計	3,930,499	3,783,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 1,017,859	※1 1,045,241
土地	766,170	766,170
その他（純額）	※1 121,015	※1 153,586
有形固定資産合計	1,905,044	1,964,999
無形固定資産		
のれん	26,118	29,849
その他	49,272	53,279
無形固定資産合計	75,391	83,128
投資その他の資産		
投資有価証券	236,525	217,474
繰延税金資産	122,450	129,530
その他	165,352	164,132
貸倒引当金	△13,280	△13,519
投資その他の資産合計	511,047	497,617
固定資産合計	2,491,483	2,545,744
資産合計	6,421,983	6,328,839
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	229,924	191,959
短期借入金	25,040	29,040
未払法人税等	42,762	3,219
賞与引当金	113,613	111,132
その他	187,520	166,045
流動負債合計	598,860	501,396
固定負債		
長期借入金	3,240	5,760
退職給付引当金	246,569	230,685
役員退職慰労引当金	3,733	75,163
その他	91,199	18,936
固定負債合計	344,742	330,545
負債合計	943,602	831,941

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	571,200	571,200
資本剰余金	399,850	399,850
利益剰余金	4,476,976	4,505,809
株主資本合計	5,448,026	5,476,859
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	30,353	20,038
評価・換算差額等合計	30,353	20,038
純資産合計	5,478,380	5,496,897
負債純資産合計	6,421,983	6,328,839

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,736,535	2,526,794
売上原価	1,543,456	1,411,815
売上総利益	1,193,079	1,114,978
販売費及び一般管理費	※ 1,028,193	※ 1,038,915
営業利益	164,886	76,063
営業外収益		
受取利息	2,112	3,178
受取配当金	1,605	1,609
保険解約返戻金	3,224	—
受取保険金	—	1,450
その他	2,269	2,475
営業外収益合計	9,212	8,714
営業外費用		
支払利息	355	260
手形売却損	452	371
売上割引	—	688
その他	527	0
営業外費用合計	1,335	1,320
経常利益	172,763	83,457
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,568	—
特別利益合計	3,568	—
特別損失		
有形固定資産除却損	16	264
特別損失合計	16	264
税金等調整前四半期純利益	176,315	83,192
法人税等	76,194	37,625
四半期純利益	100,121	45,567

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,397,530	1,347,463
売上原価	785,203	757,263
売上総利益	612,327	590,200
販売費及び一般管理費	※ 507,616	※ 510,680
営業利益	104,710	79,520
営業外収益		
受取利息	1,052	1,582
受取配当金	450	335
保険解約返戻金	3,224	—
その他	1,098	1,618
営業外収益合計	5,826	3,536
営業外費用		
支払利息	180	129
手形売却損	171	188
売上割引	—	400
その他	298	0
営業外費用合計	649	718
経常利益	109,886	82,337
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,568	—
特別利益合計	3,568	—
特別損失		
有形固定資産除却損	16	224
特別損失合計	16	224
税金等調整前四半期純利益	113,438	82,113
法人税等	49,156	35,793
四半期純利益	64,282	46,319



## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	176,315	83,192
減価償却費	102,572	85,379
のれん償却額	3,731	3,731
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△667	△259
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,163	2,481
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,092	15,884
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,366	△71,429
受取利息及び受取配当金	△3,718	△4,787
支払利息及び手形売却損	807	632
売上債権の増減額 (△は増加)	120,387	△81,003
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,682	102,080
仕入債務の増減額 (△は減少)	△32,870	37,965
未払費用の増減額 (△は減少)	2,874	8,661
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22,687	25,489
その他	△46,826	62,876
小計	305,163	270,892
利息及び配当金の受取額	3,693	4,839
利息の支払額	△355	△260
手形売却に伴う支払額	△452	△371
法人税等の支払額	△115,243	37,230
営業活動によるキャッシュ・フロー	192,804	312,329
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,622	△1,656
有形固定資産の取得による支出	△173,190	△19,684
無形固定資産の取得による支出	—	△10,740
貸付けによる支出	△5,500	—
貸付金の回収による収入	1,031	4,090
差入保証金の差入による支出	—	△280
差入保証金の回収による収入	279	—
保険積立金の積立による支出	△5,283	△5,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184,285	△33,554
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	765	△4,000
長期借入れによる収入	15,000	—
長期借入金の返済による支出	△18,463	△2,520
リース債務の返済による支出	△1,483	△3,254
配当金の支払額	△74,400	△74,400
その他	△68	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,649	△84,174
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△70,129	194,601
現金及び現金同等物の期首残高	2,233,773	2,101,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 2,163,643	* 2,296,352

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結損益計算書関係) 前第2四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「売上割引」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第1四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「売上割引」は113千円であります。

当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結損益計算書関係) 前第2四半期連結会計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「売上割引」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第1四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「売上割引」は70千円であります。

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
1. 棚卸資産の評価方法	棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。
2. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
1. 税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
(役員退職慰労引当金) 当社は従来、役員退職慰労金の支払いに充てるため、内規に基づき、四半期連結会計期間末要支給額を計上しておりましたが、平成21年6月26日開催の定時株主総会において役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給が決議されました。これにより、当第1四半期連結会計期間において、役員退職慰労引当金を全額取崩し、打ち切り支給額の未払い分については長期未払金として固定負債「その他」に含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
※1	有形固定資産の減価償却累計額 1,904,314千円	※1	有形固定資産の減価償却累計額 1,838,259千円
		2	偶発債務 連結子会社以外の次の会社のリース会社からの リース債務に対して債務保証を行っております。 Suzumo International Corporation 154千円
3	手形割引高及び裏書譲渡高 受取手形割引高 22,979千円 受取手形裏書譲渡高 86,860千円	3	手形割引高及び裏書譲渡高 受取手形割引高 47,020千円 受取手形裏書譲渡高 87,373千円
※4	たな卸資産 商品及び製品 460,241千円 仕掛品 53,078千円 原材料及び貯蔵品 208,385千円	※4	たな卸資産 商品及び製品 529,452千円 仕掛品 74,677千円 原材料及び貯蔵品 219,656千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
※	販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料 353,354千円 法定福利費 67,588千円 賞与引当金繰入額 80,334千円 退職給付引当金繰入額 13,219千円 役員退職慰労引当金繰入額 6,633千円 販売促進費 46,487千円 旅費交通費 70,682千円	※	販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料 361,447千円 法定福利費 71,563千円 賞与引当金繰入額 69,070千円 退職給付引当金繰入額 10,015千円 役員退職慰労引当金繰入額 4,250千円 販売促進費 57,726千円 旅費交通費 64,355千円

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
※	販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料 174,183千円 法定福利費 33,767千円 賞与引当金繰入額 33,192千円 退職給付引当金繰入額 7,380千円 役員退職慰労引当金繰入額 3,416千円 販売促進費 13,652千円 旅費交通費 37,299千円	※	販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料 181,106千円 法定福利費 35,357千円 賞与引当金繰入額 32,442千円 退職給付引当金繰入額 4,977千円 役員退職慰労引当金繰入額 700千円 販売促進費 16,537千円 旅費交通費 34,706千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 2,163,643千円	現金及び預金 2,296,352千円
現金及び現金同等物 2,163,643千円	現金及び現金同等物 2,296,352千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	4,960,000

2 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	74,400	15	平成21年3月31日	平成21年6月29日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、米飯加工機械関連事業の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	アジア	北米	欧州	オセアニア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	85,120	18,793	74,747	18,242	4,809	201,714
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	—	1,397,530
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	6.1	1.3	5.3	1.3	0.3	14.4

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
(1)アジア …… 韓国、台湾、中国等  
(2)北米 …… 米国  
(3)欧州 …… 英国、スイス、ドイツ等  
(4)オセアニア …… 豪州、ニュージーランド  
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	アジア	北米	欧州	オセアニア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	85,324	22,237	69,126	52,336	1,622	230,647
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	—	1,347,463
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	6.3	1.7	5.1	3.9	0.1	17.1

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
(1)アジア …… 台湾、韓国、中国等  
(2)北米 …… 米国  
(3)欧州 …… 英国、フランス、スウェーデン等  
(4)オセアニア …… 豪州、ニュージーランド  
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア	北米	欧州	オセアニア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	177,181	45,478	117,898	61,453	6,149	408,161
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	—	2,736,535
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.5	1.7	4.3	2.2	0.2	14.9

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1)アジア …… 韓国、台湾、中国等  
 (2)北米 …… 米国  
 (3)欧州 …… 英国、スイス、ドイツ等  
 (4)オセアニア …… 豪州、ニュージーランド  
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	北米	欧州	オセアニア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	146,256	42,186	96,812	77,371	2,472	365,099
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	—	2,526,794
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.8	1.7	3.8	3.1	0.1	14.4

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1)アジア …… 台湾、韓国、中国等  
 (2)北米 …… 米国、カナダ  
 (3)欧州 …… 英国、フランス、ドイツ等  
 (4)オセアニア …… 豪州、ニュージーランド  
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1,104.51円	1,108.25円

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 20.19円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 1円	1株当たり四半期純利益金額 9.19円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 1円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権方式のストックオプション制度を導入しておりますが、期中平均株価が権利行使価格を下回るため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	100,121	45,567
普通株式に係る四半期純利益(千円)	100,121	45,567
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	4,958,070	4,960,000

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 12.97円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 1円	1株当たり四半期純利益金額 9.34円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 1円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権方式のストックオプション制度を導入しておりますが、期中平均株価が権利行使価格を下回るため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	64,282	46,319
普通株式に係る四半期純利益(千円)	64,282	46,319
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	4,957,980	4,960,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月11日

鈴茂器工株式会社  
取締役会 御中

## 優成監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 渡邊 芳 樹 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 鶴 見 寛 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 陶 江 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている鈴茂器工株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、鈴茂器工株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月10日

鈴茂器工株式会社  
取締役会 御中

優 成 監 査 法 人

指定社員 公認会計士 鶴 見 寛 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 陶 江 徹 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている鈴茂器工株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、鈴茂器工株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。